

事務事業評価調書

事務事業名	まち案内事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	シティプロモーション推進室	室課長名	原山 葉子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成19年度	改正 内容	補助金交付要領における補助対象事業項目の追加											
(2) 直近の改正	平成26年度													
(3) 根拠法令等	吹田市まち案内事業補助金交付要領													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	7	活力あふれにぎわいのあるまちづくり	節	1	細節	0							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	まち案内人											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市内外からの来訪者が増加することにより、地域経済の活性化を図ることができる												
(7) 事業概要	市内観光資源の案内を行うまち案内人の活動を補助する													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	7	項	1	目	2	大事業	2	中事業	4	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		4,246	4,246	263	263	263							
	人件費	職員数	人	0.30	0.30	0.10	0.10	0.10						
		総額(B)	千円	2,490	2,385	836	836	817						
	総事業費(A+B)		6,736	6,631	1,099	1,099	1,080							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		6,736	6,631	1,099	1,099	1,080							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		6,736	6,631	1,099	1,099	1,080								
財源計(C+D)		6,736	6,631	1,099	1,099	1,080								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	特定非営利活動法人吹田歴史文化まちづくり										
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他		内容												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 まち案内活動の実績	目標値	(単位:人)	1,100.00	1,600.00	1,950.00
			実績値	(単位:人)	1,538.00	2,310.00	
			達成度(%)		139.8	144.4	
	目標値の積算方法	過去2年間の実績値の平均値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	4.31	0.48	
				一般財源(単位:千円)	4.31	0.48	
	②	指標内容 まち案内活動の年間実施回数	目標値	(単位:回)	59.00	59.00	62.00
実績値			(単位:回)	61.00	63.00		
達成度(%)			103.4	106.8			
目標値の積算方法		過去2年間の実績値の平均値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	108.70	17.44	
				一般財源(単位:千円)	108.70	17.44	
(2) 成果指標	①	指標内容 まち案内人の登録者数	目標値	(単位:人)	35.00	33.00	35.00
			実績値	(単位:人)	28.00	30.00	
			達成度(%)		80.0	90.9	
	目標値の積算方法	まち案内活動の年間実施回数を維持できる人数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	236.82	36.63	
				一般財源(単位:千円)	236.82	36.63	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>まち案内活動については、実際にまちを歩いてその魅力に触れるというものであり、本市が取り組むシティプロモーション事業が目指す自らの住むまちに対しての誇りや愛着を醸成する観点からも本事業を継続して実施する必要性は高いものと考えられる。</p> <p>今後も観光企画推進事業や情報発信プラザ事業とも相乗効果をもたらすような事業の在り方について、引き続き検討を重ねていく必要がある。</p>				

事務事業分析シート

所属名	シティプロモーション推進室	事業名	まち案内事業	事業区分	その他
事務事業番号	00238				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

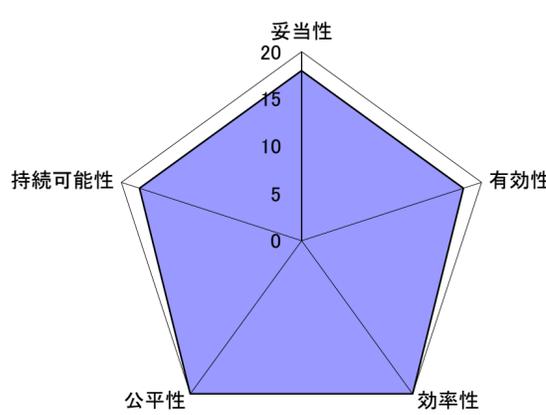
評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	94	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	シティプロモーション推進室	事務事業番号	00238
-----	---------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

まち案内事業は実際にまちを歩くことにより、まちの魅力に触れることができることから、本市が取り組むシティプロモーション事業が目指す自らの住むまちに対しての誇りや愛着の醸成に大きく寄与しているものと考えられる。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>まち案内活動については、従来の市内観光資源の案内を主としながら、平成27年度においては市外エリアと本市を結ぶコースを複数回実施することができた。これらの取り組みにより、参加者数の拡大や満足度の向上を実現できたことから、今後も更なる内容充実が図られるよう継続した補助を実施していく。また、まち案内人の高齢化により定期的な入れ替わりがある中で、最低35人以上のまち案内人を確保していかなければならず、募集の取組が必要である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	吹田まつり補助事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	シティプロモーション推進室	室課長名	原山 葉子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和45年度	改正 内容												
(2)	直近の改正														
(3)	根拠法令等	吹田まつり運営事業補助金交付要綱													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)										
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	2	市民自治が育む自立のまちづくり	節	1	細節	10							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市民												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	吹田のまちづくりと自治意識の高揚を目的として開催される吹田まつりの充実を図る。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	まつりの開催により、市民相互の交流と親睦、コミュニティ活動や市内商工業の発展に寄与することを目指す。													
(7)	事業概要	7月18日(土)に市民のバンド演奏などの「市民ふれあいフェスティバル」と「ハートフルコンサートの夕べ」をメイシアターで開催。8月1日(土)に前夜祭を江坂公園、千里南公園の2会場で、翌2日(日)に本祭りをJR吹田駅周辺一帯で開催。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	7	項	1	目	2	大事業	2	中事業	4	小事業	2
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		12,600	12,600	11,600	11,600	12,600							
		人件費	職員数	人	1.70	1.70	1.65	1.65	1.70						
			総額(B)	千円	14,110	13,510	13,781	13,781	13,889						
		総事業費(A+B)		26,710	26,110	25,381	25,381	26,489							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		26,710	26,110	25,381	25,381	26,489							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			26,710	26,110	25,381	25,381	26,489								
財源計(C+D)		26,710	26,110	25,381	25,381	26,489									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	吹田まつり実行委員会										
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	観客動員数	目標値	(単位:人)	355,000.00	350,000.00	350,000.00
			実績値	(単位:人)	350,000.00	350,000.00	/	
		達成度(%)			98.6	100.0		
	目標値の積算方法	前年度実績値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.07		0.07
				一般財源(単位:千円)		0.07	0.07	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合を示す		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	/	
	達成度(%)			0.0	0.0			
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
①	活動内容				目標			
	②	成果内容	市民主体のまつりとなるよう企画、運営する実行委員会を様々な団体から選出し構成している。また、市内大学の学生による学生部会にまつりの一部を任せすることで吹田市への愛着に寄与できている。			達成状況	市民ニーズを汲み取れる自治会が主体となって運営し、各団体からの意見を取り入れることで、市民に近いまつりが実施できている。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		吹田まつりの企画運営は、自治会をはじめとする市民団体等の各種団体により構成される吹田まつり実行委員会が行っていることで、市全体で一体感をもって実施できている。財源も市からの補助金だけでなく、実行委員が協賛金を集めて実施しているところであり、市内最大のイベントとして継続させるとともに、市民のみならず観光客の集客も図れるようPRすることが必要と考える。					

事務事業分析シート

所属名	シティプロモーション推進室	事業名	吹田まつり補助事業	事業区分	その他
事務事業番号	00239				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	12	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	14	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	74	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	シティプロモーション推進室	事務事業番号	00239
-----	---------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (推定値)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (0-20)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (0-20)	妥当性	10	有効性	18	効率性	12	公平性	18	持続可能性	10
視点	評価結果 (0-20)														
妥当性	10														
有効性	18														
効率性	12														
公平性	18														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>本年開催47回を迎え、吹田の一大イベントとしてしっかりと根付いた事業となっている。市内各種団体により構成される吹田まつり実行委員会が実施主体となり、市民団体、企業、商店街の協力のもと企画運営を担うことで、市全体の一体感が生まれているものと考えている。 今後も持続可能な吹田まつりとなるように、協賛金のあり方や事業経費の精査、事務局運営等についての課題について検討していく必要がある。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	観光企画推進事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	シティプロモーション推進室	室課長名	原山 葉子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成22年度	改正 内容												
(2)	直近の改正														
(3)	根拠法令等														
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	7	活気あふれにぎわいのあるまちづくり	節	1	細節	0							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市民及び来訪者												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	イベント等を活用した本市への誘客企画の実施、ホームページやポスターによる魅力ある情報発信を通じて広域からの誘客を図る												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	本市への誘客を実現し、地域経済の活性化が図られる													
(7)	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 本市の都市魅力を市内外に発信し、広域からの集客につなげる事業の実施 観光情報誌やホームページ、ポスター等を活用した情報発信 阪急電鉄株式会社と連携した「阪急観光あるき」への参画 													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	7	項	1	目	2	大事業	98	中事業	99	小事業	99
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		6,562	6,545	6,558	25,188	9,068							
		人件費	職員数	人	0.80	0.80	0.70	0.70	1.00						
			総額(B)	千円	6,640	6,358	5,847	5,847	8,170						
		総事業費(A+B)		13,202	12,903	12,405	31,035	17,238							
		特定財源(C)		185	164	167	0	0							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	185	164	167	0	0							
		市負担(D)		13,017	12,739	12,238	31,035	17,238							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
一般財源	13,017		12,739	12,238	31,035	17,238									
財源計(C+D)		13,202	12,903	12,405	31,035	17,238									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	一般社団法人吹田にぎわい観光協会										
				②											
				③											
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 情報発信プラザ等を活用した本市の特性をPRするフェアの実施	目標値	(単位:回)	4.00	6.00	/
			実績値	(単位:回)	6.00	4.00	
		達成度(%)		150.0	66.7		
	目標値の積算方法 前年度開催数以上	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	2,150.50	7,758.75		
			一般財源(単位:千円)	2,123.17	7,758.75		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) の3が困難な場合を示す	①	活動内容	行政と様々な事業者が相互にメリットを享受できるような連携を図りながら観光施策の展開を図っている。	目標	本市の魅力を効果的に発信し、観光施策の担い手の拡充を図り、市内外からの交流人口の拡大により、地域経済の活性化につなげる。		
	②	成果内容	吹田にぎわい観光協会と鉄道事業者との連携により、情報発信プラザでのフェアの実施や、沿線各駅でのポスター掲示、8万人規模の集客を実現している万博鉄道まつりの実施につなげている。	達成状況	市内外で開催されるご当地PRイベントに積極的に参加し、イメージキャラクターすいたんを活用しながら市のPRに努めている。		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		平成27年度における市立吹田サッカースタジアムとEXPOCITYの相次ぐ開業により、本市の交流人口が大幅に増加しており、市内回遊の促進による地域経済の活性化の観点から、観光施策の重要性は非常に高いと考えられる。 また、観光施策は様々な事業者と連携することで、より大きな成果を得ることが可能であることから、今後もまち案内人や吹田にぎわい観光協会、市内各種事業者をはじめ、大阪府や北摂都市間の連携を図りながら、事業を展開していく必要がある。				

事務事業分析シート

所属名	シティプロモーション推進室	事業名	観光企画推進事業	事業区分	その他
事務事業番号	00244				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。		
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。				
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点		
評価点合計 (100点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	シティプロモーション推進室	事務事業番号	00244
-----	---------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

- ・地域経済振興室や広報課をはじめとする庁内他部署との連携を深めることで、活動成果の拡大を図っている。
- ・まち案内事業や情報発信プラザ事業との連携した事業の展開により、相乗効果をもたらすことができるように努めている。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本市における観光施策は、「ビールと操車場のまち」・「千里ニュータウンと万博のまち」・「ガンバ大阪のあるまち」・「大学のあるまち」・「鉄道のまち」といった地域の特性を活かしたものとしており、迅速かつ柔軟な対応が可能となるよう、本市と目的を同じとする吹田にぎわい観光協会へ事業委託の形態で実施している。平成27年度の市立吹田サッカースタジアムとEXPOCITYの相次ぐ開業により、本市の交流人口が大幅に増加し、本市が持つ都市魅力を効果的に発信することの重要性は更に高まり、本事業が果たす役割は非常に大きいものと考えられる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

国は平成28年3月に「明日の日本を支える観光ビジョン」を策定し、観光施策を成長戦略と地方創生の大きな柱として位置づけており、大阪府においても来訪客数や宿泊者数の増加による経済効果と地域の活性化を目指していることから、観光に関する施策は非常に重要なものとされている。

本市においても、市立吹田サッカースタジアムやEXPOCITYの相次ぐ開業により、広域からの交流人口が大幅に増加している中で、吹田にぎわい観光協会や吹田まち案内人をはじめとする民間団体や北摂近隣市とのこれまで以上の連携強化に努め、北摂ブランドを発信していく必要がある。

事務事業評価調書

事務事業名	「地方の時代」映像祭支援事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	シティプロモーション推進室	室課長名	原山 葉子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成22年度	改正内容	なし											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	「地方の時代」映像祭実行委員会規約													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	4	細節	10							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	範囲等	市民、事業者、高校・大学等教育機関												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	ドキュメンタリー映像を通して「地域のあり方」、「地方自治」を考えるきっかけとなり、市民・自治体・高校・大学が相互に研究し学びあう。また、ドキュメンタリーの映像芸術を広く市民、事業者に還元する。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	自立した地域文化、研究、教育における新たな方向性の展開が期待できると共に、全国規模で唯一のドキュメンタリー映像の祭典が開催されることで、吹田市の名を全国的に広める。												
(7) 事業概要	<p>放送局や市民、自治体、ケーブルテレビ、高校・大学生が作成した映像を募る、全国規模で唯一のドキュメンタリー映像の祭典。毎年11月に関西大学千里山キャンパスにおいて開催され、関西大学、日本放送協会、日本民間放送連盟、ケーブルテレビ連盟とともに主催となっている。</p> <p>また、メイシアターを会場にプレフォーラムを開催し、市民にドキュメンタリー映像芸術を提供している。</p>													
(8) H27事業別予算コード	会計	1	款	2	項	1	目	23	大事業	2	中事業	6	小事業	1
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		1,000	1,000	1,000	1,000	1,000							
	人件費	職員数	人	0.20	0.20	0.20	0.20							
		総額(B)	千円	1,660	1,590	1,671	1,671							
	総事業費(A+B)		2,660	2,590	2,671	2,671	2,634							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0							
		府		0	0	0	0							
		その他		0	0	0	0							
	市負担(D)		2,660	2,590	2,671	2,671	2,634							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0							
		その他		0	0	0	0							
一般財源		2,660	2,590	2,671	2,671	2,634								
財源計(C+D)		2,660	2,590	2,671	2,671	2,634								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	「地方の時代」映像祭実行委員会											
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目		項目	平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)		
(1) 活動指標	① 指標内容 「地方の時代」映像祭テレビ、新聞等メディア 登場回数	目標値	(単位:回)	60.00	44.00	57.00	
		実績値	(単位:回)	44.00	57.00		
		達成度(%)		73.3	129.5		
	目標値 の積算 方法 前年度実績数値	単位当 たり コスト	総事業費(単位:千円)	58.86	46.86		
			一般財源(単位:千円)	58.86	46.86		
	② 指標内容 「地方の時代」映像祭コンクール出展作品数	目標値	(単位:作品)	258.00	225.00		294.00
実績値			(単位:作品)	225.00	294.00		
達成度(%)			87.2	130.7			
目標値 の積算 方法 前年度実績数値		単位当 たり コスト	総事業費(単位:千円)	11.51	9.09		
			一般財源(単位:千円)	11.51	9.09		
(2) 成果指標		① 指標内容 「地方の時代」映像祭来場者数(本祭)	目標値	(単位:人)	3,175.00	3,034.00	
	実績値		(単位:人)	3,089.00	3,830.00		
	達成度(%)		97.3	126.2			
	目標値 の積算 方法 過去3年の平均来場者数(1日平均)×開催 日数		単位当 たり コスト	総事業費(単位:千円)	0.84	0.70	
				一般財源(単位:千円)	0.84	0.70	
	② 指標内容 「地方の時代」映像祭プレ企画 連続フォーラム来場者数(メイシアター開催 分)		目標値	(単位:人)	368.00	374.00	375.00
		実績値		(単位:人)	347.00	332.00	
		達成度(%)		94.3	88.8		
		目標値 の積算 方法 過去3年の平均来場者数(1日平均)×開催 日数	単位当 たり コスト	総事業費(単位:千円)	7.46	8.05	
				一般財源(単位:千円)	7.46	8.05	
		(3) 困難な場合 を示す	① 活動内容				
	② 成果内容					達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性 (実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明	映像祭(本祭)のコンクールへの出展作品数・来場者数、及びメディア登場回数は平成27年度に過去最多となり、このことから映像祭への注目度が高まっている様子がうかがえる。本映像祭は、映像芸術を市民に広めるだけでなく、全国各地のドキュメンタリー映像を通して、市民が自らの暮らすまちについて考えるきっかけになるものとする。また、全国から多くの人々が本市に集うことで、全国的に吹田市の名を広め、市の魅力を対外的に発信する機会ともなりうる。よって、市民によるわがまち発見および市内外への吹田市の魅力発信の貴重な機会として捉え、担当室課がシティプロモーション推進室となる平成28年度以降も本事業を継続実施していく。					

事務事業分析シート

所属名	シティプロモーション推進室	事業名	「地方の時代」映像祭支援事業	事業区分	その他
事務事業番号	01058				

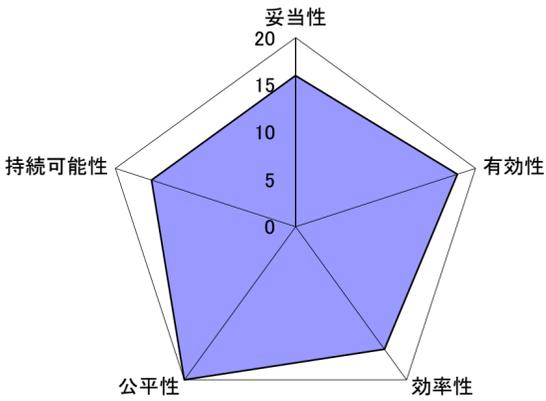
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点			
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点	
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点	
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点	
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点	
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点	
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点	
(2) 有効性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点	
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点	
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点	
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点	
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点	
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点	
(3) 効率性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点	
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点	
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点	
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点	
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点	
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点	
(5) 持続可能性 (20点)	16	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点	
		評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	シティプロモーション推進室	事務事業番号	01058
-----	---------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>全国規模で唯一のドキュメンタリー映像の祭典として、多くの作品応募があり、毎年11月に関西大学千里山キャンパスで開催されるイベントには、全国から多くの方々が来場します。平成27年度には来場者数、出展作品数が過去最高となり、メディアからの注目度も高まっています。</p> <p>また、11月の本祭に先立ってメイシアター小ホールにおいて開催しているプレ企画にも毎年多くの方々にご来場いただいております、固定のファンも定着するようになってきました。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	大学のあるまちづくり事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	シティプロモーション推進室	室課長名	原山葉子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成17年度	改正 内容	吹田市・大学・研究機関連携協議会設置要領を制定											
(2)	直近の改正	平成24年度													
(3)	根拠法令等	各大学・研究機関と吹田市との連携協力に関する基本協定書、吹田市・大学・研究機関連携協議会設置要領													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	4	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市民、事業者、学生、大学・研究機関												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	各大学・研究機関との連携を図り、大学等が持つ豊富な人材・情報・施設などを活かし、市民・事業者・大学・行政のネットワークによるまちづくりを進めていく。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	現在までの蓄積された知的・人的資源が有機的に交流し、歴史と文化のまちづくりの推進に資する。													
(7)	事業概要	地域との共生を目指す市内の大学・研究機関と、歴史と文化が息づく都市機能と自然が調和するまちづくりを目指す吹田市が、歴史的・文化的資源の活用及び知的・人的交流を図ることにより、双方の発展と充実に寄与すると共に、地域連携を積極的に推進していく。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	2	項	1	目	23	大事業	2	中事業	7	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		30	0	30	0	30							
		人件費	職員数	人	0.20	0.00	0.20	0.20	0.50						
			総額(B)	千円	1,660	0	1,671	1,671	4,085						
		総事業費(A+B)		1,690	0	1,701	1,671	4,115							
		(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
			国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
		(内訳)	その他		0	0	0	0	0						
			市負担(D)		1,690	0	1,701	1,671	4,115						
			地方債		0	0	0	0	0						
(内訳)	その他		0	0	0	0	0								
	一般財源		1,690	0	1,701	1,671	4,115								
	財源計(C+D)		1,690	0	1,701	1,671	4,115								
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 関西大学、大阪学院大学、千里金蘭大学、大和大学との連携協議会開催回数	目標値	(単位:回)	6.00	8.00	8.00	
			実績値	(単位:回)	7.00	8.00		
			達成度(%)		116.7	100.0		
	目標値の積算方法	各大学年2回(春・秋)開催予定 大和大学とは平成26年度秋季より開催	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		113.57	208.88	
				一般財源(単位:千円)		113.57	208.88	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	指標内容 関西大学K群講座、及び大阪学院大学公共政策研究講座への職員講師派遣回数	目標値	(単位:回)	28.00	28.00	28.00	
			実績値	(単位:回)	26.00	26.00		
			達成度(%)		92.9	92.9		
		目標値の積算方法	講座開催回数(関大:14回、大院大:14回)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		30.58	64.27
	一般財源(単位:千円)					30.58	64.27	
	②	指標内容 5大学・1研究機関連携特別講座参加者数		目標値	(単位:人)	0.00	120.00	0.00
				実績値	(単位:人)	0.00	0.00	
				達成度(%)		0.0	0.0	
目標値の積算方法		会場定員(180人×2/3)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		各大学・研究機関と連携協議会を開催し、共通課題の検討や情報交換を行いました。関西大学、大阪学院大学では市職員が学生を対象とした講座を複数回実施するなど、行政による啓発や市政参画への関心・意欲向上に関して一定の成果を挙げています。一方、複数の大学等が連携する取組の実施には至りませんでした。					

事務事業分析シート

所属名	シティプロモーション推進室	事業名	大学のあるまちづくり事業	事業区分	その他
事務事業番号	01059				

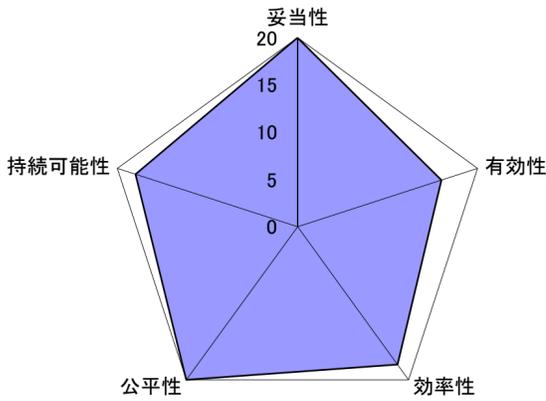
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	シティプロモーション推進室	事務事業番号	01059
-----	---------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本市には5大学1研究機関が立地し、名実ともに「大学のあるまち」となっています。各大学・研究機関が有する知的・人的・物的資源や学生の活力は、行政課題の解決や地域の活性化に大きく貢献するなど、今やまちづくりには欠かすことができない要素となっており、ひいては本市のブランド力をけん引する力を持つものです。</p> <p>平成28年度からはシティプロモーション推進室が本事業の実施主体となることに伴い、実施方法を一部見直し、市民・事業者・大学・行政のネットワークによるまちづくりを一層進めてまいります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	地域活性化事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	シティプロモーション推進室	室課長名	原山 葉子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成25年度	改正 内容						
(2)	直近の改正								
(3)	根拠法令等								
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
		一部にチェックした場合はその説明							
(5)	総合計画の体系	章	7	活気あふれにぎわいのあるまちづくり	節	0	細節	0	
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他			
		範囲等	市民及び来訪者						
		目標 (どういう状態にしたいのか)	多様な都市魅力を持つ本市における各地域の特性や地域資源を活かして地域経済の活性化を図る						
	結果 (どのような効果が得られるのか)	地域経済の活性化に寄与する							
(7)	事業概要	地域住民や団体、企業が自主的、主体的となって企画実施に取り組み、本市の都市魅力発信や、地域経済の活性化に貢献する創意と工夫に富んだ事業に対しての補助を実施する。							
(8)	H27事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)	
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
		事業費(A)		0	0	0	0	0	
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			総額(B)	千円	0	0	0	0	0
		総事業費(A+B)		0	0	0	0	0	
		特定財源(C)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	国		0	0	0	0	0
			府		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
		市負担(D)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
一般財源			0	0	0	0	0		
財源計(C+D)		0	0	0	0	0			
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施							
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
				②					
				③					
		主な委託内容							
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①							
		②							
		③							
<input type="checkbox"/> その他	内容								

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容	各地域に根ざした地域住民や団体、企業が主体的に地域資源を磨き上げ、本市の都市魅力に発展し得る事業に対し補助を実施する。			目標	活用できる補助金については積極的に活用していく。
	②	成果内容	イベント等への補助の実施により、地域の活性化に寄与する。			達成状況	平成27年度はアステラス江坂ウインターイルミネーションの実施により、江坂地域の活性化に寄与することができた。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		国府等の補助金を活用し、財源の確保を前提に、本事業の趣旨に沿うと考えられる事業については、地域が主体となって活動できるように側面からの補助を実施していく。				

事務事業分析シート

所属名	シティプロモーション推進室	事業名	地域活性化事業	事業区分	その他
事務事業番号	01284				

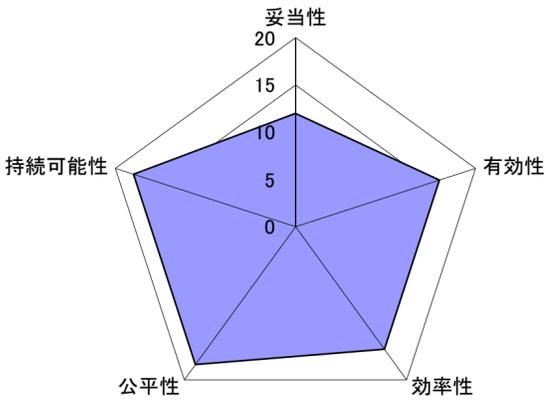
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	12	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	シティプロモーション推進室	事務事業番号	01284
-----	---------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成25年度に引き続き、江坂駅周辺をイルミネーションで装飾し、美しい景観を作り出すアステラス江坂ウィンターイルミネーション事業に事務局として参画している。 江坂の冬の風物詩として定着しつつあるが、事業経費の内、収入の大部分が企業協賛によるものとなっているため、景気の動向に左右されやすい面が課題としてあげられる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	観光センター事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	シティプロモーション推進室	室課長名	原山 葉子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成27年度	改正 内容												
(2)	直近の改正														
(3)	根拠法令等														
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	7	活気あふれにぎわいのあるまちづくり	節	1	細節	0							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	情報発信プラザ(旧観光センター)、市民及び来訪者												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	市民及び来訪者への観光情報をはじめとした都市魅力の発信												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	都市魅力の発信により、市内回遊が促進される													
(7)	事業概要	情報発信プラザの管理運営													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	7	項	1	目	2	大事業	2	中事業	4	小事業	5
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		4,246	0	10,691	8,071	17,426							
		人件費	職員数	人	0.30	0.00	0.20	0.20	0.40						
			総額(B)	千円	2,490	0	1,671	1,608	3,268						
		総事業費(A+B)		6,736	0	12,362	9,679	20,694							
		特定財源(C)		0	0	0	26	123							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	26	123						
		市負担(D)		4,246	0	10,691	8,045	20,571							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			4,246	0	10,691	8,045	20,571								
財源計(C+D)		4,246	0	10,691	8,071	20,694									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	一般社団法人吹田にぎわい観光協会										
				②											
				③											
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	情報発信プラザの認知度	目標値	(単位:人)	0.00	360,000.00	360,000.00	
			実績値	(単位:人)	0.00	200,536.00		
			達成度(%)		0.0	55.7		
	目標値の積算方法	市の人口	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.04	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.04	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	情報発信プラザ来訪者数	目標値	(単位:)	0.00	600,000.00	428,000.00	
			実績値	(単位:)	0.00	200,536.00		
			達成度(%)		0.0	33.4		
	目標値の積算方法	前年度実績を年に換算した値×0.8 (平成27年度は初年度で11月中旬オープン)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.04	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.04	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(3) が 困難 な 場合 示 合 す	①	活動内容	情報発信プラザでは観光情報やイベント情報の提供の他、吹田の特性を紹介するフェアを開催しており、フェアの開催期間中には来訪者へアンケートを実施し、満足度の把握に努めている。			目標	来訪者数の増加を図り、展示内容の充実に努める。	
	②	成果内容	情報発信プラザでの限定展示により、充実した内容で吹田の特性をPRできた。			達成状況	情報発信プラザでのフェア実施を含め、話題性のある展示内容により、来訪を促進できている。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		全国的に注目度の高い大型複合施設であるEXPOCITY内を本市の情報発信拠点としていることで、海外を含めた市内外の来訪者へ本市が持つ様々な都市魅力を発信できている。今後も様々な事業者や北摂各市と連携を深めることで、更なる展示内容の充実に努め、市内回遊の促進と北摂ブランドの発信につなげていく。また、他の公共施設と大きく異なる点として大型商業施設内に設置されていることから、より一層、来訪者のニーズ把握と満足度の向上に努める必要がある。					

事務事業分析シート

所属名	シティプロモーション推進室	事業名	観光センター事業	事業区分	その他
事務事業番号	01408				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点		
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点		
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点		
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	シティプロモーション推進室	事務事業番号	01408
-----	---------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

観光センターと比較して、施設賃借料や光熱費等の負担、及び開設時間の延長による人件費等が増加している。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>情報発信プラザの来訪者数はJR吹田駅前の観光センターと比較して大幅に増加しており、幅広い年齢層が訪れている。 本市の都市魅力を発信する拠点として、更なる展示内容の充実や、接客スタッフのスキル向上に努める必要があるものと考えられる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成27年11月にJR吹田駅前に設置していた観光センターを、大型複合施設EXPOCITY内へ移転させ、情報発信プラザとして新たに開設している。これにより、平成28年度からは事業名称を観光センター事業から情報発信プラザ事業へ変更し、本評価は情報発信プラザを対象として実施した。